

うめナビ

2021.4
Vol.105

町田市・神奈川県央地区等エリア※1

量販店にはない、暮らしを楽しむ道具
全国各地から集めた厳選の品が並びます

工芸民藝
季節(とき)



暮らしを楽しむ道具たち
工芸・民藝「季節(とき)」「海老名市国分南、波多野朝子代表、046・409・0727)は2019年2月より、人の手が生み出す独特の味わいを持つ工芸品・民藝品に魅入られたオーナーが、全国各地で収集した厳選の品々を販売している。

季節(とき)は、作り手の方々の暮らしを応援し、さらに生活の道具として決して高価になりすぎない、そんな物選びを心掛けている。

オーナーは作る側の人々と使用する人々との間にある店舗として、作り手の人柄・心意気・プロセスなど自身の目で見て感じた事を丁寧に伝えていきたいと考えている。

大量生産で作られたものにはない、一つひとつの人が丁寧に手作りした品の違いを是非とも感じ取ってほしい。

「海老名の地から微力ではありますが、日本の伝統ある手仕事の素晴らしさを小さな店舗からこれからも発信していきたいと考えています」とオーナー。

日常で使える木・竹細工や陶器などを中心に、量販店にはない「暮らしを楽しむ道具」に出会える希少なお店だ。

頑張った自分へのご褒美や大切な方への贈り物として、いかがでしょうか。

〈営業時間〉11時～18時
〈定休日〉不定休

*定休日は店頭の看板またはInstagram(@kurashi.toki)、Twitter(@kurashi.toki)からご確認ください。



こごんまりとした店内に、見ていて飽きない魅力的なラインナップは見応えあり。是非一度、ふらっと立ち寄ってみて。



GOOD DESIGN AWARDを受賞
「ピタットボックス」

「ワクワク」する箱との出会いを求めて、お気軽にお問い合わせください。

サンライト紙工(本社・大和市つきみ野、東京営業所・品川区上大崎、久光典之代表取締役、03・6450・3124 (東京営業所) / http://sunlightpk.com)は洋菓子・和菓子等の化粧箱の製造販売を行う。

お客様に「ワクワク」する箱をお届けする為にデザイン会社との連携やこまめなヒアリング等を行い、日夜開発に取り組んでいる。

同社はヨーロッパを中心に国内外問わず幅広く市場を展開しているが、予算に合わせた箱の種類や機械生産や手作りなど、ケースに適した加工方法を提案し、お客様のイメージに近づけて生産販売を行っている。

2018年度には、GOOD DESIGN AWARDを受賞した「ピタットボックス」という丈夫で高級感がある「貼箱」と省スペースで好きな時に組み立てられる「組箱」のお互いの良



いところを組み合わせた新しい化粧箱の販売を行っている。

また、最近では『らくっと花瓶』という紙で出来た花瓶の取

約60年続く、貼箱の製造会社
「ワクワク」する箱をお届けします!

サンライト紙工

<p>送付先業種 ※2</p>	<p>商社 6先</p>	<p>スーパー・小売・百貨店 24先</p>	<p>メーカー 15先</p>	<p>マスコミ・出版 29先</p>	<p>教育(大学・専門学校) 33先</p>	<p>官公庁 34先</p>	<p>ホテル 7先</p>	<p>金融 48先</p>	<p>建設・不動産 13先</p>	<p>システム関連 10先</p>	<p>その他 39先</p>	<p>合計 258先</p>
---------------------	------------------	----------------------------	---------------------	------------------------	----------------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------	--------------------

※1 一部、エリア外の企業も掲載しております。

※2 本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

豊かなキャンピングカーライフを あなたに……

キャンパー厚木



キャンパー厚木(厚木市山際、竹内啓二代表取締役社長、046・280・5983、<http://www.camperatsugi.com>)は、キャンピングカーの製造・販売・修理を行っている。キャンピングカー国内大手VANTECH(株)の直営店を運営していた竹内社長が2013年に個人事業主として独立し、2018年に現在の会社を立ち上げた。

『はじめての喜びをこれから』をキャッチフレーズに、キャンピングカーの購入を検討しているお客様に、これまでないコンセプトのオリジナルキャンピングカーを販売している。

2020年に販売を開始したPuppy480はトヨタカムロードのナローボディをベース車としており、小さく誰でも扱える車をコンセプトに製作されている。最大の特徴は全幅174cmのボディ。乗用車の

感覚で運転が可能で、これまでのキャブコンにはない日本の道路事情に適したサイズとなっている。機能性もありながらこのサイズでのキャンピングカーを提供しているのは日本で同社のみである。SNSでの紹介が反響を呼んだこともあり、全国からの問い合わせの電話が来ている。キャンピングカーに携わる中で10年前から構想を考えていた竹内社長。その構想を実現し「本来あるべきものを世に送り出すのは僕らの仕事。それを使っている姿を見て勝手に喜ぶのも僕らの仕事」と熱く話す。

コロナ禍でも安心して楽しめるレジャーの一つとしてキャンピングカーへの注目が過熱している今、同社は新作の開発に取組んでおり、2021年内の発表に向けて動いている。

少しでも興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。



創業70年の技術とノウハウ 金属加工のことならお任せ!

丸善

丸善(海老名市東柏ヶ谷、中澤憲一代表取締役社長、046・231・2285、<https://www.ebn-naruzen.co.jp>)は昭和38年(1963年)に大型油圧プレスを導入以來、約50年にわたり、プレス加工や溶接加工を主業として歩みを重ねている。現在では、プレスライン化を図り、150トンから400トンのプレス機を保有するに至っている。こうした設備を活かし、輸送用トラック部品、重機の部品、精密で工程数が多い長大金型にも対応が可能である。トラックのエンジンカバーにも施される深絞りやトラックの荷台に欠かせない加工、曲げフレームなど外部から高い評価を得ている。(2018年にISO9001:2015を認定取得)



昨年導入したマシニングセンター

同社は絞り、プレス加工から溶接組立(Assy加工)を可能としている。大手自動車会社からも高い評価を得ており、信頼も厚い。昨年マシニングセンターを導入し、切削加工もしている。こうした事業拡大に伴い、昨年に工場、倉庫を本社に集約し、敷地内に工場、倉庫、事務所を新設。

今後はトラッ



クオリティの追及はもちろん、 社会環境への適応もテーマにチャレンジ!

東和グラビヤ印刷

東和グラビヤ印刷(大和市中下鶴間、小金澤隆代表取締役社長、046・261・8516、<http://www.towa-gp.co.jp>)は昭和35年(1960年)6月に大田区池上にて創業したグラビア印刷会社。

食品パッケージのグラビア印刷を主業としており、普段店先で目にする様々な食品のパッケージ印刷に携わっている。プラスチックフィルムなど柔軟性に富む軟梱包資材の普及により、粒粉物(米・小麦粉など)や加水性食品(こんにゃく・レトルト食品など)を安全に流通できるようにになった現代において食品パッケージは欠かすことができないものである。

最新鋭の印刷機を導入することにより、作業環境の向上を実現し、少品目小ロット化への対応、納期の大幅短縮に成功した。また、印刷技術の精度が格段にアップしたことに

より、精密な印刷も可能となり、ドクター線の発生や色むら等も無くなった。

クライアントからの要望など



また、印刷だけでなく、ラミネート、スリッター(各々のサイズに合わせて切断)、クライアントのパッケージ機器に合わせた巻き方、加工等の最終調整を行い、クライアントの求めるクオリティとスピードに 대응。

同社は、今まで培ってきたノウハウと印刷技術の向上によりお客様に満足いただける製品を求め、日々試行錯誤を続ける。そして、今後も一歩一歩の努力を続けながら、未来の社会環境にマッチしたグラビア印刷の更なる向上に努めていく。